

令和2年7月豪雨に伴う災害派遣



第764号
令和2年8月31日

要望事項
成必
北方後進士

発行：北部方面総監部広報室



南恵庭駐屯地を出発する施設支援隊



流木除去



道路啓開



土砂の除去



瓦礫の除去

施設支援隊として人員約190名、車両約100両を西部方面区へ派遣

方面隊は、7月8日から22日までの間、令和2年7月豪雨に伴う災害対応のため、第3施設団を主力とする北方施設支援隊(隊長 第12施設群長末継1佐)を派遣し、熊本県人吉市、津奈木町及び球磨村で、道路啓開、流木の除去を実施した。また、北部方面後方支援隊、北部方面通信群、北部方面会計隊及び北部方面衛生隊から同支援隊に配属された

要員は、補給、整備、通信、調達、衛生等、円滑な任務遂行を支える活動を実施した。

方面隊は、引き続き、北海道のみならず、国内で起こるあらゆる事態に対し、速やかに部隊を派遣して、国民の皆様への安心安全を確保できるように万全の態勢を維持していく。



警衛隊指揮轉移式 (ジブチ共和国)

また、8月18日、旭川駐屯地においてご来賓・ご家族等も参加して帰国行事が行われ、その中で第2師団長(森下陸将)は「世界的に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、ジブチ国内においても猛威を振るう中、諸官らは高い規律心により一人の感染者を出すこともなく、無事に帰国したことを師団長として非常に心強く感じる。困難な状況にも決して弱音を

吐くこともなく、日々の業務等を黙々と遂行した諸官らに対し、改めて心から敬意を表すものである。」と式辞を述べ、要員の任務完遂の労をねぎらった。

派遣海賊対処行動支援隊の活動

ジブチでの任務を無事完遂

アフリカソマリア沖における海賊対処の活動拠点であるジブチ共和国に派遣されていた第2師団基幹の派遣海賊対処行動支援隊の第13次要員(第25普通科連隊 能登1尉以下約80名)は、第14次要員に任務を引き継ぎ、全員無事に帰国した。

8月3日、空路で航空自衛隊千歳基地に到着した要員は、方面総監(前田陸将)、第2師団副師団長(垂水陸将補)等の出迎えを受けた。



家族との再会 (旭川駐屯地)



帰国行事 (旭川駐屯地)



出迎え行事 (航空自衛隊千歳基地)

北部方面隊 総合戦闘力演習開始

準備を万全に 方面隊最大の実動演習開始

方面隊は、8月24日から9月10日までの予定で、北部方面隊総合戦闘力演習を実施している。

本演習は、道内各地の演習場等において実施され、方面隊全体の作戦機能の総合化について演練し、作戦運用の実効性の向上を目的とした方面隊最大の演習であり、人員約17,000名、車両約5,000両、航空機約30機が参加している。

訓練開始に先立ち、3回にわたり準備訓練を実施し、認識の統一を図りつつ、必要な調

整を行い、各種計画等を深化させるとともに、8月20日に訓練開始式及び統裁部編成完了式を行い、円滑な実動演習実施に向けた準備を完了した。



統裁部編成完結式



認識共有会同

北海道訓練センター実動対抗演習 第1回運営への参加

実際の環境下で 指揮幕僚活動及び戦闘を評価

方面隊は、6月30日から7月8日までの間、北海道訓練センターにおいて、陸上自衛隊教育訓練本部が担任する、北海道訓練センター実動対抗演習第1回運営に参加した。

陸上自衛隊教育訓練本部が担任する、北海道訓練センター実動対抗演習第1回運営に参加した。



戦闘団指揮所において指導する第11戦闘団長



攻撃前進する89式装甲戦闘車

評価支援隊が新編され、初となる本運営に、第7師団隷下の第11普通科連隊を基幹に、特科、機甲科、施設科部隊等が配属された第11戦闘団が参加し、東北方面隊第9師団隷下の第39普通科連隊基幹の第39戦闘団との実動対抗演習に臨んだ。

防衛する第39戦闘団に対し、第11戦闘団が攻撃するとの想定で実施された本運営は、諸職種

協同で、より実相に近い作戦環境下で行われた。また、本運営に際し、第7師団等の部隊・隊員が運営支援を実施するとともに、方面総監(前田陸将)が運営状況及び運営支援状況を現地指導した。



敵部隊の警戒



運営状況の説明を受ける前田総監

第2師団及び第5旅団 第1次訓練検閲

第2師団と第5旅団が 交戦訓練用装置を使用して対抗演習

第2師団(師団長 森下陸将)及び第5旅団(旅団長 小瀬陸将補)は、7月3日から10日までの間、北海道大演習場等において、対抗演習による訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は、島嶼



5.56mm機関銃MINIMIによる突撃破砕射撃(第2師団)



普通科隊員と90式戦車による警戒部隊の駆逐(第5旅団)

が攻撃部隊として受閲した。

また、第2師団は第2特殊武器防護隊、第5旅団は第5後方支援隊及び第5化学防護隊が攻撃部隊として受閲した。

各部隊は、日頃の練成の成果を最大限に発揮し、所望の成果を収めて本訓練検閲を終了した。

水際障害構成訓練

水際障害構成能力の向上

第3施設団(団長 浅賀陸将補)は、6月28日から7月23日までの間、天塩訓練場等において水際障害構成訓練を実施した。

訓練には、第13施設群の第302水際障害中隊及び第383施設中隊が参加し、水際部にお

ける94式水際障害敷設装置による地雷敷設訓練及び汀線部波打ち際及び砂浜における波消しブロック等による障害構成訓練を実施し、敵の着上陸を阻止するための障害構成能力の向上を図った。



組立装填場の開設



汀線部における障害構成



94式水際地雷敷装置による水際地雷の敷設

第1回北海道防災総合訓練

災害対処能力の向上及び
関係機関との連携の強化

方面隊は、7月15日及び16日、第1回北海道防災総合訓練に参加した。本訓練には、第11旅団、北部方面航空隊、北部方面通信群及び北部方面対舟艇対戦車隊が参加し、俱知安町から仁木町までの陸路及び丘珠駐屯地から室蘭市までの空路による物資輸送要領、俱知安町での河川への07式機動支援橋による交通路の確保、橋による交通路の確保要領及び災害用ドローンを送要領について演練した。



本訓練を通じ、災害対処能力の向上を図るとともに、関係機関との連携強化を図った。

災害対処訓練

関係機関相互の任務分担
対処要領の確認・検証



方面隊は、7月7日、函館港ターミナル埠頭周辺において、北海道警署函館方面本部及び津軽海峡フェリー株式会社と共同して災害対処訓練を実施した。訓練には、第11旅団隷下の第28普通科連隊が参加し、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震



が発生した際の関係機関相互の任務分担及び共同対処要領等を確認・検証するとともに、緊密な連携体制を構築した。

一般陸曹候補生前期及び
自衛官候補生課程教育修了式

自衛官としての基本・基礎を修得し
それぞれの職種部隊へ

方面隊は、6月下旬、一般陸曹候補生前期及び自衛官候補生課程教育を担当した各部隊において修了式を実施した。4月に駐屯地の門をくぐった新隊員は、多くの仲間と出会い、互いに励まし合い、切磋琢磨し、教官・助教の愛情ある指導の下、逞しく成長した。修了式では、入隊式と同様、新型コロナウイルスの観点から、来賓やご家族は参加しない形で行われたが、新隊員は入隊式とは異なるほどの堂々とした動作をみせた。今後、新隊員は、それぞれの職種部隊に配属され、専門的な教育を受け各部隊の大きな戦力となっていく。



着任部隊長等紹介

<p>第7師団副師団長 陸将補 末永 政則</p> <p>前職 昭和47年生 広島県出身 防衛計画部防衛課付</p> 	<p>北部方面總監部幕僚副長 陸将補 富崎 隆志</p> <p>前職 昭和43年生 山口県出身 自衛隊 大阪地方協力本部長</p> 	<p>北部方面總監部幕僚長 陸将補 上田 和幹</p> <p>前職 昭和44年生 鹿児島県出身 兼 需品学校長 兼 松戸駐屯地司令</p> 	<p>第5旅団長 陸将補 廣恵 次郎</p> <p>前職 昭和41年生 奈良県出身 陸上幕僚監部指揮通信システム・情報部長</p> 	<p>第2師団長 陸将 富樫 勇一</p> <p>前職 昭和41年生 山形県出身 陸上幕僚監部 人事教育部長</p> 
<p>幌別駐屯地業務隊長 2等陸佐 秩父 雅彦</p> <p>前職 昭和44年生 秋田県出身 第11施設群副群長</p> 	<p>釧路駐屯地業務隊長 2等陸佐 尾方 博也</p> <p>前職 昭和44年生 熊本県出身 幹部候補生学校 企画室副室長</p> 	<p>別海駐屯地業務隊長 2等陸佐 永田 志仁</p> <p>前職 昭和43年生 広島県出身 東部方面總監部人事 援護業務課援護班長</p> 	<p>自衛隊函館地方協力本部長 1等海佐 久保 健昭</p> <p>前職 昭和42年生 香川県出身 海自幹部候補生学校 教育部長</p> 	<p>札幌駐屯地業務隊長 1等陸佐 小島 茂</p> <p>前職 昭和44年生 新潟県出身 化学学校教育部長</p> 



令和2年度自衛官等採用案内



平和を、仕事にする。

募集種目	受付期間	試験期日	合格発表
一般曹候補生	9月10日まで	1次：9月18日～20日 2次：10月9日～14日	11月6日
自衛官候補生	随時受付 しております。	札幌 9月 23,24,25,26日 28,29,30日 10月1日	受付時にお知らせ します。
		函館 9月 23,24,25,26日 10月 4,15,16日	
		旭川 9月 13,14,21日 23,24,25日 10月 18,19日	
		帯広 9月 24,25,26,30日 10月 1,2日	
予備自衛官補	9月11日まで	10月3,4日	11月6日

自衛官候補生の採用試験は、10月以降も予定しています。

一般曹候補生と自衛官候補生の採用年齢は
18歳以上32歳以下です。

- ◇ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試験日程が変更となる可能性があります。
- ◇ 試験日程、各種イベント及び説明会等の情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部のHPをご確認ください。



札幌地方協力本部 011(631)5472
 旭川地方協力本部 0166(51)6060
 帯広地方協力本部 0155(23)5882
 函館地方協力本部 0138(53)6241



オンライン設備を活用して個別説明(札幌地本)



市街地広報(旭川地本)



高校での説明会(帯広地本)



女性自衛官との懇談(函館地本)

各自衛隊地方協力本部は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に細心の注意を払い、自衛官の採用活動を実施している。

特に、自衛隊の勢力の要となる自衛官候補生の採用活動を強化しており、18歳以上32歳以下の対象者に対し、様々な方法で制度説明等を

実施して、自衛隊に対する理解を深めていただくとともに、採用試験受験の働きかけを行っている。

また、各分野で個人の知識・経験・能力を生かすことができる自衛官の魅力発信し、職業として自衛官を選択していただくよう努力を続けていく。

なりたい仕事がある 自衛官募集

特に、自衛隊の勢力の要となる自衛官候補生の採用活動を強化



説明会場(帯広地本)



予備自衛官等の制度説明(札幌地本)



企業担当者による説明(函館地本)



企業担当者による説明(旭川地本)

任期制隊員合同企業説明会

退職後の生活も安心 道内外の優良企業が参加

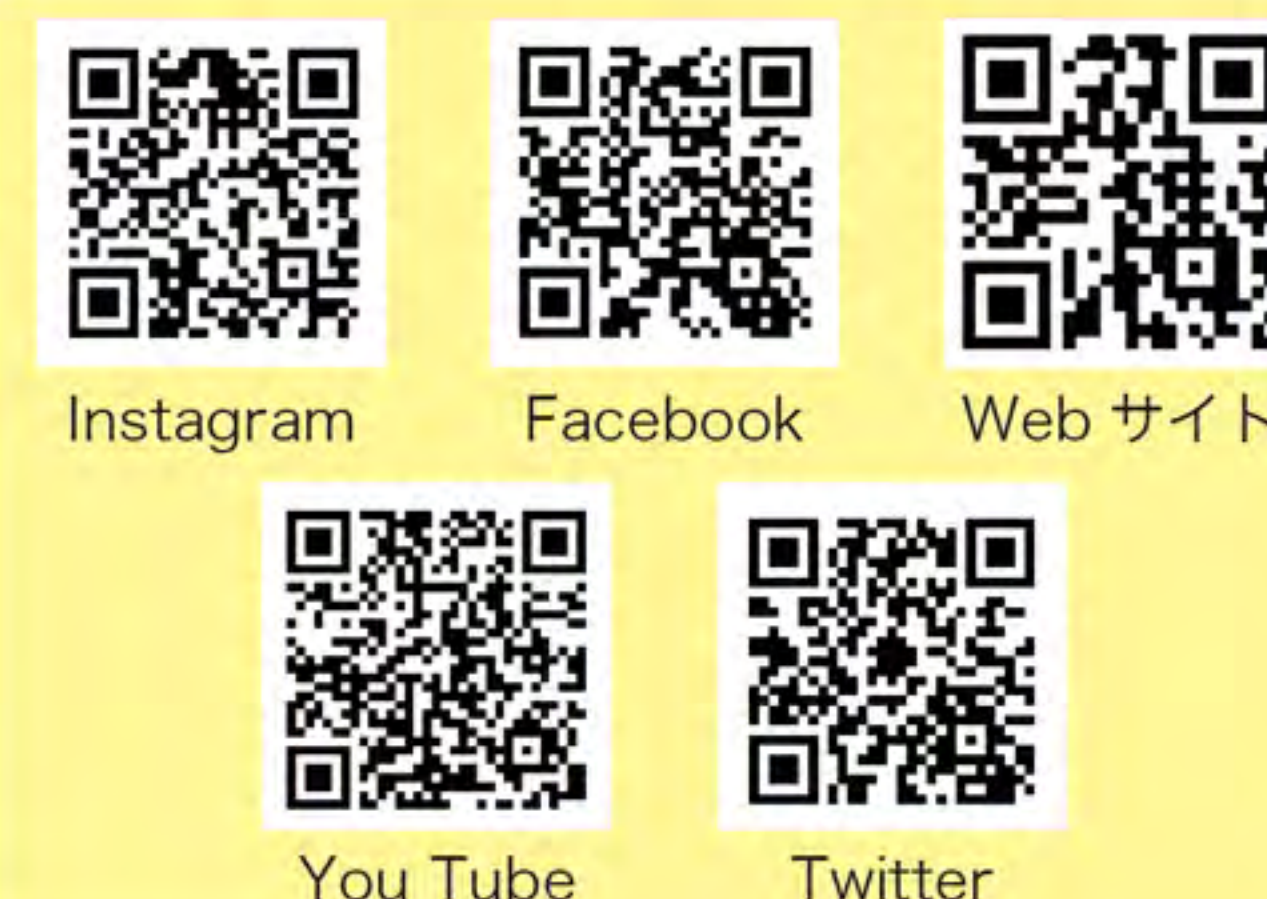
各自衛隊地方協力本部は、7月下旬、新型コロナウイルス感染症拡大防止に細心の注意を払い、任期制隊員合同企業説明会を実施した。

本説明会は、任期満了による退職隊員が円滑に再就職準備できるよう、雇用協力企業等が一堂に会して説明を行うもので、管内4か所の会場に、合わせて隊員約240名、企業約400社が参加した。

参加した隊員は、それぞれの企業ブースで担当者の説明に耳を傾けたり、熱心に質問する等、前向きな姿が見られた。

また、各企業は、自衛隊で培った知識・経験や強い団結力、高い規律意識を持つ隊員の採用につなげようと、説明にも熱を帯びていた。

方面隊は、地域社会に人材を還元するとともに、崇高な国防の任に当たってきた隊員に対し、将来への安心感を付与するため、引き続き、手厚い就職支援策を推進していく。



Instagram Facebook Web サイト



You Tube Twitter

お知らせ

10月24日(土)に予定しておりました北部方面隊音楽まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。ご了承ください。

なお、北部方面隊では、SNSで部隊・隊員の活動状況を配信しております。是非ご覧ください。

編集後記

近年、北海道でも地球温暖化の影響を受けて、9月に入っても比較的暑い日が続く傾向にありましますが、今年はどうなるでしょうか。

7月1日からレジ袋の有料化がスタートしました。これはプラスチックごみ問題や地球温暖化などの課題克服のために始められたものです。私たち一人ひとりが、環境保全に取り組み、次の世代にこの美しい地球を受け継ぎたいものです。

新型コロナウイルスへの感染は増減を繰り返しながら続いています。引き続き、「新北海道スタイル」を守り、感染拡大防止に努めましょう。